

関西外大の求める教員像および教員組織の編制方針

1. 関西外大では、「建学の理念」「教育理念・方針」を踏まえ、徹底的に言語運用能力を磨いた上でプラス・アルファの能力を身につけ国際社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

(1) 建学の理念

公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材を育成します。

(2) 教育理念・方針

- ① 言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実践的な言語教育を行います。
- ② 他国の言語・文化を修得・理解するレベルにとどまらず、日本語・日本文化の礎を踏まえ、自らの考えを自由に発信できる、より高度で創造的なレベルでの言語運用能力の修得をめざします。
- ③ 言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として、必要な「国際学」「外国学」に関する国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。

2. 関西外大では、国際社会に貢献できる人材育成の実現に向け、以下の方針に沿った教員組織を編制します。

(1) 関西外大が求める教員像は、「建学の理念、教育理念・方針」を踏まえ、大学、大学院、ならびに短期大学部の人材養成目的を実現するための教育研究ならびに大学運営に専心し、優れた研究業績にもとづき社会に貢献しつつ自らの研鑽を続け、『関西外大行動憲章』に従い、学生の成長を促す者」としています。

(2) 教員組織の編制は、「大学設置基準」「短期大学設置基準」等関係法令を踏まえ、教育研究上の専門分野等バランスを考慮しつつ、各学部・学科等の教育研究上の目的等の各種方針を効果的に実現するために必要な教員組織を整備します。

(3) 主要授業科目の担当は、原則として基幹教員が担当します。

(4) 新任教員採用は、募集の段階では「建学の理念および各学部等における人材養成目的等」に掲げる方針にもとづく教育を実践できる教員を募集する」ことを明記し、採用面接段階ではそれらの方針に対する意思等の確認を行います。

ホームページリンク

【建学の理念】

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/principle/>

【各学部等における人材養成目的等】

https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/assets/file/info.disclosure.publication.goals_univ.pdf

https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/assets/file/info.disclosure.publication.goals_graduate.pdf

https://www.kansaigaidai.ac.jp/info/assets/file/info.disclosure.publication.goals_college.pdf

(5) 若手教員、女性教員、外国人教員など多様な人材を積極的に採用し、その人的資源を活用することにより教育研究水準の一層の向上を図ります。

(6) 教員の募集・採用・昇格については、諸規程にもとづき適正な基準、手続きを明確化し、適切性・透明性を保ちます。

(7) 教育研究力の向上のため、組織的・多面的・継続的にファカルティ・ディベロップメント(FD)、スタッフ・ディベロップメント(SD)研修等を実施し、教員の資質向上を図ります。

(8) 教員の評価については、大学に提出する「教育研究業績報告書」にもとづき、次の4つの領域に関して総合的に判断を行います。

- ① 教育領域(授業評価、FD・SD活動、教材研究・指導法研究等)
- ② 研究領域(学術論文・著書等業績、科研費申請・採択状況等)
- ③ 学内貢献領域(役職、委員会活動、学生・クラブ活動指導、校務への取り組み状況等)
- ④ 学外貢献領域(学会役員、審議会委員、各種団体責任者等の社会活動)

(9) 教員・教員組織の適切性については、「学校法人関西外国語大学内部質保証推進規程」にもとづき、点検・評価を行います。

制定:2020年10月24日

改定:2025年2月22日

学部・学科等の求める教員像および教員組織の編制方針

関西外国語大学

【外国語学部】

本学部では、高度で実践的な言語運用能力の構築を行うのみならず、諸外国・地域に関する知識、言語・文化・歴史・宗教等を異にする人々との共生を志向する国際感覚、豊かな専門知識と幅広い視野を兼ね備えた人材の育成を目的としています。そのため、各科目の専門性を踏まえながら、幅広く国際的な教養を教授できる教員組織の編制を行います。

●英米語学科

本学科で求める教員像は、高度で実践的な英語運用能力の向上を図るとともに、英語圏をはじめとする諸外国・地域の歴史や文化に関する幅広い理解、国際感覚、ならびに豊かな専門知識を育むことにより、国際社会で活躍できる人材を育成することができる者としています。

●スペイン語学科

本学科で求める教員像は、高度で実践的なスペイン語運用能力の向上を図るとともに、スペインやラテンアメリカを基軸とした諸外国の事情に関する幅広い理解、国際感覚、ならびに豊かな専門知識を育むことにより、国際社会で活躍できる人材を育成することができる者としています。

●英語・デジタルコミュニケーション学科

本学科で求める教員像は、高度で実践的な英語運用能力の向上を図るとともに、英語圏をはじめとする諸外国・地域の歴史や文化に関する幅広い理解、国際感覚、数理・データサイエンスの理解、ならびに豊かな専門知識を育むことにより、デジタルツールを駆使し、国際社会で活躍できる人材を育成することができる者としています。

●国際日本学科

本学科で求める教員像は、高度で実践的な英語運用能力を獲得したうえ、日本語・日本語教育・国語教育および日本文化・社会に関する専門知識、ならびに豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を併せ持ち、グローバル社会で活躍できる人材を育成することができる者としています。

【英語国際学部】

本学部では、英語ならびにアジアの言語の実践的な運用能力を備え、グローバル社会のありよう、世界の文化・社会に関する深い知識と教養を学修し、世界が抱える多様な課題を理解するとともにその解決に積極的に寄与し、世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材の育成を目的としています。そのため、各科目の専門性を踏まえながら、幅広く国際的な教養を教授できる教員組織の編制を行います。

●英語国際学科

本学科で求める教員像は、英語、中国語、海外留学等における学修をもとに、国際的なコミュニケーション能力や異文化理解力を育成し、加えて、グローバル社会のありよう、人間の叡智や文化の多様性に関する幅広い教養を基盤とし、総合的・分野横断的な思考力、情報デジタル社会に対応できる力、課題発見・課題解決力などを発揮しながら、力強く未来を構想し新たな価値を生み出せる人材、世界の持続的発展に貢献できる未来創造型のグローバル人材を育成することができる者としています。

●アジア共創学科

本学科で求める教員像は、英語ならびにアジアの言語、グローバル・アジアのありよう、アジアの文化・社会に関する深い知識と教養の学修により、アジアの多様な人々と協働しつつ共創によって新たな価値を創出し、アジアを起点として世界の平和と持続的発展に広く貢献できるグローバル人材を育成することができる者としています。

【英語キャリア学部】

本学部では、高度なコミュニケーションを可能とする英語力と、国際理解力と多文化共生力を基盤とし、併せて幅広い教養や豊かな人格形成等からなる英語キャリア基礎力を養成することにより、多文化共生社会においてリーダーシップを発揮する高度国際職業人につながる人材の育成を目的としています。そのため、各科目の専門性を踏まえつつ、特に複合的学修を有効に行うことに留意して教員組織の編制を行います。

●英語キャリア学科

本学科で求める教員像は、高度なコミュニケーションを可能とする本格的英語力と、社会科学の学修を通じて得る知識・論理的思考力・公正な視点および国際理解力と多文化共生力を基盤とし、併せて幅広い教養や豊かな人格形成等からなる英語キャリア基礎力を養成することにより、多文化共生社会においてリーダーシップを発揮する高度国際職業人につながる人材を育成することができる者としています。

●英語キャリア学科小学校教員コース

本コースで求める教員像は、教育に対する強い情熱・使命感を持ち、小学校教育に関する全領域にわたる優れた実践的指導能力を身につけ、コミュニケーションを可能とする英語力と、国際理解力と多文化共生力を有した高度国際職業人につながる人材を育成することができる者としています。

【国際共生学部】

本学部では、外国人教員を中心とした国際通用性の高い専門教育と全授業科目オールイングリッシュ履修による学修や、外国人留学生と日本人学生が肩を並べた共同学修を通じて、高度な英語実践力、異文化理解力、主体性を基盤とする地球市民としての資質や能力を養成することにより、予測困難な多文化共生時代において新たな価値を創造する人材の育成を目的としています。そのため、各科目について、専門性を踏まえながら、幅広く国際的な教養を英語により教授できる教員組織の編制を行います。

●国際共生学科

本学科で求める教員像は、高度な英語実践力、異文化理解力、主体性を基盤とする地球市民としての資質や能力を養成することにより、予測困難な多文化共生時代において新たな価値を創造する力を備えた人材を育成することができる者としています。

関西外国語大学大学院 外国語学研究科

【博士前期課程】

博士前期課程では、高度な言語運用能力を基盤とし、グローバル社会において地域社会を支える、豊かな外国語コミュニケーション能力を備えた高度専門職業人、また博士後期課程に進学し、知識基盤社会の中核となる専門人材としての教育能力と研究能力を兼ね備えた教育者になるための素地を養成することを目的としています。そのため、コースワークによる体系的な研究指導を行うことができる教員組織の編制を行います。

●英語学専攻

本専攻で求める教員像は、英語運用能力を育成するとともに、あわせて英語学、英語教育の専攻分野における専門知識や先行研究を正確に理解し、資料を的確に収集・分析する能力、および論理的・批判的な思考力を併せ持った人材を育成することができ、かつ論文作成技法などを指導できる者としています。

●言語文化専攻

本専攻で求める教員像は、外国語運用能力を育成するとともに、あわせて言語文化、日本語学、国際共生コミュニケーションの専攻分野における専門知識や先行研究を正確に理解し、資料を的確に収集・分析する能力、および論理的・批判的な思考力を併せ持った人材を育成することができ、かつ論文作成技法などを指導できる者としています。

【博士後期課程】

博士後期課程では、高度な言語運用能力を基盤とし、今日のグローバル化社会において、教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と自立して研究活動を行うことのできる能力を兼ね備えた教育者などとして活躍できる優れた人材を養成することを目的としています。そのため、高度かつ体系的な研究指導を行うことができる教員組織の編制を行います。

●英語学専攻

本専攻で求める教員像は、高度な英語運用能力を育成するとともに、あわせて英語学、英語教育の専攻分野における高度な専門知識や先行研究を深く理解し、関連する資料等を的確に収集・分析する能力、および論理的・批判的な思考力を併せ持った人材を育成することができ、かつ論文作成技法などを指導できる者としています。

●言語文化専攻

本専攻で求める教員像は、高度な外国語運用能力を育成するとともに、あわせて言語学、言語文化、日本語学、文化人類学、比較文化学の専攻分野における高度な専門知識や先行研究を深く理解し、関連する資料等を的確に収集・分析する能力、および論理的・批判的な思考力を併せ持った人材を育成することができ、かつ論文作成技法などを指導できる者としています。

関西外国語大学短期大学部

●英米語学科

本学科で求める教員像は、英語を中心とした言語運用能力の向上を図るとともに、日本と世界のなかで交流するときに求められる人間力と教養を高め、実践的な職業人または国内外の学士課程教育でより高度な専門性や教養を考究できる人材を育成することができる者としています。

●未来キャリア英語学科

本学科で求める教員像は、英語コミュニケーション力と情報リテラシーの向上を図り、自らのキャリア形成の過程で、未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人を育成することができる者としています。